

行政評価事務事業一覧

【まちづくりの目標5\_人権・協働・社会教育・文化・スポーツ・コミュニティ】

施策 5-9\_国際化の推進

基本計画		事業番号	細事業名称
5-09-01	国際交流の推進	02640_01	国際都市間交流推進事業
5-09-03	国際化を進める体制づくり	02577_01	国際交流協会運営事業

## 令和6年度事務事業評価表

I 基礎情報				事後評価	2024	02640_01
事業名(行目名称)		国際都市間交流推進事業費		細事業名	国際都市間交流推進事業	
総合計画	まちづくり	人権・協働・社会教育・文化・スポーツ・コミュニティ		施策	国際化の推進	
	基本計画	国際交流の推進		担当課	地域コミュニティ課	
II 事務事業の実施概要						
事務事業内容	対象(誰・何を)	市民			数値	118,521人
	手段(どうやって)	友好都市である徳州市(中国)との交流を継続するとともに、ホイアン市(ベトナム社会主義共和国)など、友好都市以外の都市とも交流を図る。				
	目的(どんな状態にしたいのか)	海外都市との交流に市民を巻き込むことで、市民の国際理解を促進し、多文化共生社会を推進する。				
III 投入費用						
実施年度		令和5年度 決算額(千円)	令和6年度(千円)			令和6年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース
			当初予算額	年度末予算額	決算額	
経費		375	1,499	1,499	1,191	○旅費 600千円 ○需用費 60千円 ○役務費 49千円 ○委託料 790千円
財源	県・国支出金	0	0	0	0	
	地方債		0	0		
	その他	0	1,499	1,499	1,191	
	一般財源	375	0	0	0	
IV 指標						
成果指標名(計算式)			令和4年度	令和5年度	令和6年度中間値	令和6年度
直接連絡を取り合うことが出来る海外の都市数			目標値	5	4	4
			実績	3	3	—
V 事中評価						
評価視点		妥当性	高い	有効性	高い	効率性
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	現状のまま維持する			高い
年度当初に計画した通り、事業が進捗している。						
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	現状維持			
ホイアン市と今後も友好的な協力関係構築の促進について同意出来たことから、ホイアン市への訪問、日本祭りへの出展等を継続する。						
VI 事後評価						
成果	総合評価(令和6年度)		A:計画通りに事業を進めることが適当			
本市と友好都市協定を締結している「中国山東省徳州市との交流」については、令和6年5月、中国共産党徳州市委員会書記他数名の代表団が新居浜市を訪問。市長会談も行き、今後も継続した相互交流を行うことで協議を行っている。また、ベトナムホイアン市との交流については、令和6年4月、ベトナムのホイアン市関係者が新居浜市を訪れ、今後の交流促進に向けて市長等と意見交換を行い、市内の観光施設などを視察。令和6年8月には、ホイアン日本フェスティバルの開催にあわせ、市長もホイアン市政府を表敬訪問し、今後の友好的な協力関係構築を促進するための取り組みについて協議を行っている。なお、ベトナム行政区の変更に伴い、令和7年7月からホイアン市はダナン市西ホイアン区に移行されている。クブラヤ県(インドネシア)との交流については特段進展はないが、新居浜市から中古本を送付したタンジュンプラ大学との交流を継続している。						

令和6年度事務事業評価表

I 基礎情報				事後評価	2024	02577_01		
事業名(行目名称)		国際交流協会運営費	細事業名	国際交流協会運営事業				
総合計画	まちづくり	人権・協働・社会教育・文化・スポーツ・コミュニティ	施策	国際化の推進				
	基本計画	国際化を進める体制づくり	担当課	地域コミュニティ課				
II 事務事業の実施概要								
事務事業内容	対象(誰・何を)	市民		数値	118,521人			
	手段(どうやって)	任意団体である新居浜市国際交流協会を市の補助金により運営、事業を委託していく。市としては国際交流員人件費及び協会事務所内の機器の整備費用等を負担することで、財政的な支援を行う。						
	目的(どんな状態にしたいのか)	地域に根ざした国際理解及び国際交流に関する活動を通じて、市民の国際化意識と国際認識の向上を図り、多文化共生できるコミュニティの実現と世界に開かれた地域社会の発展に寄与することを目的とする。						
III 投入費用								
実施年度		令和5年度 決算額(千円)	令和6年度(千円)			令和6年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース		
			当初予算額	年度末予算額	決算額			
経費		9,339	9,668	9,668	8,412	○報酬 2,240千円 ○共済費 370千円 ○旅費 166千円 ○需用費 30千円 ○役務費 136千円 ○委託料 1,730千円 ○使用料及び賃借料 1,111千円 ○負担金補助及び交付金 3,885千円		
財源	県・国支出金	135	135	135	117			
	地方債		0	0				
	その他	3,232	4,032	4,032	4,008			
	一般財源	5,972	5,501	5,501	4,287			
IV 指標								
成果指標名(計算式)			令和4年度	令和5年度	令和6年度中間値	令和6年度	令和7年度	
外国人対応実績			目標値	12	12	175	175	175
			実績	142	174	61	138	—
V 事中評価								
評価視点		妥当性	やや低い	有効性	やや高い	効率性	やや高い	
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	現状のまま維持する					
<p>予定通り新たな国際交流員を受け入れた。ただ、今年度から1人体制とした国際交流協会について、人員不足により活動に支障が出ている。(令和6年度中間値の目標値については、通年目標値175の2分の1としていたため、通年目標値に変更している。)</p>								
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	拡大					
<p>令和6年度途中から赴任した国際交流員の雇用期間が通年となること、国際交流協会の運営のために人員増が必要不可欠であることから、拡大する。(国費を活用することにより、一財負担は減少させる)</p>								
VI 事後評価								
成果	総合評価(令和6年度)		A:計画通りに事業を進めることが適当					
<p>新居浜市の国際化の拠点として設置している国際交流協会の運営を補助するとともに、同協会に各種事業を委託することで、国際化の推進に取り組むことができた。その他、国庫補助事業として設置している外国人相談窓口の相談についても引き続き実施しているが、協会職員の1名減員により、対応件数は前年度よりも減少している。協会事務局としては複数名での職員体制が望ましいと思われる。今後も外国人相談窓口の開設について周知し、相談数増加に取り組みたい。なお、令和6年8月からはベトナム国籍の国際交流員を任用し、ベトナム文化の紹介等を通じて様々な講演会や研修会で講師として活躍し、市民の国際化意識と国際認識の向上を図ることができた。</p>								